

稲城市の海外交流実績 ①稲城県

平成27年11月13日現在
※年月日等、必要に応じて修正します。

国	自治体・団体名	きっかけ	年	月	交流概要	備考(担当等)
中国	稲城県	平成7年に、地球上に『稲城』という同じ地名がもう一つあることを知り、稲城国際交流の会の会員がその地を訪問したことがきっかけ。 以降、数年おきに相互訪問が行われる。	平成7年 (1995年)	8月10日～	【事前訪中】稲城国際交流の会の会員が会長の親書を携えて稲城県を訪問 帰国後、9月14日に市長へ報告	協働推進課 稲城国際交流の会 ※H20訪中以降は、現地の通訳と連絡を取り合うのみ。 ※稲城県に行く機会があったマツタケ業者の方に、稲城県の稲城市との交流について意見を聞いてきてもらったところ「現時点はそういう状況ではない」との返答があった。
			平成8年 (1996年)	4月30日 ～5月7日	【第1次訪日】稲城県長、稲城県党書記、州副秘書長が、稲城国際交流の会の招待で稲城市を訪問。ガーデンスیتی多摩96にて国際交流広場とステージにて市民の方々に紹介	
			平成8年 (1996年)	8月10日 ～24日	【第1次訪中】稲城市国際交流の会5名が現地視察	
			平成9年 (1997年)	2月22日 ～23日	城山文化センターにおいて、稲城国際交流の会が、稲城県視察の報告を国際理解講座(テーマ「民族から見た地球社会」)で実施。また、「稲城県訪問写真展」を同時開催	
			平成9年 (1997年)	5月3日 ～5日	「稲城県訪問写真展」開催	
			平成9年 (1997年)	8月10日	「今後の交流計画について」協議の為、国際交流の会の事務局長が訪中	
			平成10年 (1998年)	2月8日 ～	「稲城県訪問写真展」開催	
			平成10年 (1998年)	11月27日	稲城県の大洪水の被害に対して義捐金を送る。州人民政府、副州長から「雪中送炭」と言われる。	
			平成12年 (2000年)	11月9日	来日(新小岩)中の副州長と、国際交流の会の事務局長が第2次訪中について協議	
			平成13年 (2001年)	4月30日 ～5月8日	【第2次訪日】稲城県の県長、県幼稚園園長2名が、稲城国際交流の会の招待で稲城市を訪問。「第1回ふれあいまつり」等に参加。	
			平成16年 (2004年)	8月4日 ～13日	【第2次訪中】稲城国際交流の会9人が稲城県を訪問。稲城県人民政府 県長より、市長宛てに政府認可の友好都市にしたいとの『親書』を預かる。→ <u>稲城市として返事は返していない</u>	
			平成17年 (2005年)	10月18日 ～25日	【第3次訪日】稲城県より副県長、党県委宣伝部長が、稲城国際交流の会の招待で稲城市を訪問。交流10周年記念としてIまつりでチベット族の歌舞を披露。	
			平成20年 (2008年)	10月10日 ～21日	【第3次訪中】稲城県との交流ツアー(一般募集)を実施。通訳を含めて5人で、現地の政府関係者などとの意見・情報交換のほか、児童の絵画の交換や参加者が作成した稲城市を紹介するDVDの上映などを行う。[稲城国際交流の会]	
平成21年 (2009年)	2月9日 ～20日	市役所1階ロビーにて、稲城県に関する展示(写真・パネル等) ※以前の訪中の際に撮った写真を展示したもの。				
平成25年 (2013年)	2月26日 ～31日	中央文化センターで稲城県の小学生の絵を展示[国際交流の会] ※以前の訪中の際にもらった絵を展示したもの。				

国	自治体・団体名	きっかけ	年	月	交流概要	備考(担当等)
米国 オレゴン州	ユージン市 (友人学園)	アーカンソー州 フェイエットビル 市アーカンソー 大学の日本人教 授の紹介で友人 学園との交流が 始まる。			<p>・アーカンソー州フェイエットビル市のアーカンソー大学の日本語講座担当教授を中心に、1990年代より数名の日本人コミュニティとの交流が始まる。</p> <p>・アーカンソー大学2代目日本語講座担当教授に百村在住の方が就任。</p> <p>・アーカンソー大学3代目日本語講座担当教授の提案で日本語スピーチ大会が開催される。 ⇒優秀者が日本へ2カ月のホームステイ</p> <p>①2004年5月:ローラさん 稲城市内の小中学校で英語の授業へ協力。ローラさんを通じ、フェイエットビル市長から姉妹都市を結んで交流しましょうとの『親書』をいただく。(新書については不明)</p> <p>②2005年5月:ジェニファーさん 稲城市内の小中学校で英語の授業へ協力。</p> <p>・2003年 アーカンソー大学の日本語講座担当教授と市民がオレゴン州ユージン市の友人学園(公立学校でアメリカの子弟に対し日本語で全科目の授業をしている)を訪問。 友人学園の教諭と意見交換をし、稲城市教育委員会と交流が可能かを打診する。 →稲城市との学校を中心とした交流を友人学園関係者に図ることを約束する。</p> <p>・2003年10月、当時の稲城市教育長、教育委員がアーカンソー大学、友人学園等を訪問。 (①アーカンソー大学:教育学部長、学科長と面会し、大学のサマースクールの状況や、大学生の日本訪問等意見交換②フェイエットビル教育委員会:市内小・中学校を見学③友人学園:校長及び森先生、学校関係者と意見交換。今後の交流について検討協議することとなる。)</p>	<p>・指導課</p> <p>・掛川市と1979年に姉妹都市提携</p>
			平成16年 (2004年)		友人学園の日本人の先生が稲城市を訪問。友人学園保護者会の意向等が伝えられ、稲城市への児童・保護者の訪問に向け検討を始めることとする。	<p>・H23は、東日本大震災や狂牛病のため取りやめ。以降、繋がりは消滅。</p>
			平成16年 (2004年)	6月	稲城市教育委員会と友人学園と教育提携(提携の内容については確認できず)	
			平成17年 (2005年)	10月	教育長及び市内校長が個人的に友人学園を訪問	
			平成18年 (2006年)	6月21日 ~23日	友人学園から5年生の児童・保護者各15名が(掛川市訪問後に)稲城市を訪問。若葉台小学校での授業体験。ホームステイゲーム、踊り(よさこいソーラン)、歌、芸文連主催華道、茶道を体験。ウエルカムパーティー。	<p>・友人学園との学校交流であり、姉妹都市とは趣向が異なる。</p>
			平成19年 (2007年)	6月20日 ~24日 (4泊5日)	小学生及びその保護者合計25名が稲城市を訪問。ホームステイ(児童)第七小学校における交流活動(保護者)第七小学校をお借りして茶道、華道、書道の日本文化体験。ホストファミリーとのパーティー。	
			平成20年 (2008年)	7月10日 ~13日	児童17名、保護者17名(中学生1名、大学生1名を含む)が稲城市を訪問。稲城第一小学校、第三中学校における交流活動や日本文化体験を実施。ホームステイ	
			平成21年 (2009年)	10月23日 ~12月3日	稲城の教職員がホームステイをしながら友人学園を訪問。同時期に当時の教育長、教育委員1名、元校長が友人学園を訪問。	
			平成22年 (2010年)	7月2日 ~5日	友人学園の子供22名保護者20名が稲城市を訪問。ホームステイ 7/2 野球観戦 7/3 稲城第二小学校での交流活動及び参観 PMホストファミリーと自由行動 7/4ホストファミリーと自由行動	

国	自治体・団体名	きっかけ	年	月	交流概要	備考(担当等)
米国 バーモント 州	【団体名】 フォーキッズ	稲城国際交流の 会の役員からの 紹介	平成2年 (1990年)		稲城国際交流の会の役員が米国バーモント州のヘントマイケルカレッジのサマースクールに通っていた際に、フォーキッズ(アメリカ・バーモント州ニューイングランド地方の伝統的な踊りや歌を継承している少年少女グループ「Folkids of Vermont(フォーキッズ・オブ・バーモント)」)の代表ベンさんから交流の話を聞く。 ⇒教育委員会に相談し、「話を進めたら」ということになりスタート	協働推進課 稲城国際交流の会 ・団体との交流であり、姉妹都市とは趣向が異なる。
			平成3年 (1991年)	12月	フォーキッズ代表のベンさんが来日	
			平成4年 (1992年)	10月	稲城国際交流の会発足。歌の友好大使派遣事業フォーキッズを受け入れることとした。 ※稲城国際交流の会は、市内7団体(①稲城市、②稲城青年会議所、③東京稲城少年少女合唱団、④稲城ハーモニカサークル、⑤稲城芸術文化団体連合会、⑥国際ソロプチミスト稲城、⑦多摩スクウェアダンスハッピーハート)に呼びかけ、実行委員会を組織化してスタートした。	
			平成4年 (1992年)	12月	フォーキッズ代表のベンさん及び世話役アブリルさんが来日。学校や市役所等を下見。	
			平成5年 (1993年)	5月1日 ～5日	フォーキッズ計32名(引率者、指導者含む)が稲城市訪問。ホームステイガーデンシティ多摩93'やTAMAライフ21に出演。開拓当時の民族衣装、当時の音楽を使って、当時の文化の様子を紹介。	
			平成6年 (1994年)	4月30日 ～5月17日	稲城市から、少年少女合唱団が米国バーモント州を訪問。ホームステイ国際児童フェスティバルへ参加 参加者43人(公募・少年少女合唱団推薦35人、指導者8人)	
			平成19年 (2007年)	5月1日 ～6日 (5泊6日)	フォーキッズ計16人(指導者・引率者含む)が来日。ホームステイ開拓当時の民族衣装、当時の音楽を使って、当時の文化の様子を紹介。 第一小学校で交流活動、手づくり市民祭りへの出演等。	
			平成21年 (2010年)	4月28日 ～5月4日	フォーキッズ代表ベンさんが孫の誕生祝いで訪日。国際交流の会のメンバー交流、手づくり市民祭り、府中暗闇祭り、秋葉原電気街、後樂園球場などを訪問	

稲城市の海外交流実績 ④その他交流

平成27年11月13日現在

国	自治体・団体名	きっかけ	年	月	交流概要	備考(担当等)
米国	フルブライト メモリアル 基金		平成19年 (2007年)	10月22日 ～28日	日米教育委員会日本フルブライトメモリアル基金(JFMF)による日米教育委員会交流で全米各地の教員16名が稲城市訪問。市内視察及び第三中学校、長峰小、駒澤学園女子高等学校で教育活動参観。ホームステイ	指導課
			平成20年 (2008年)	6月16日 ～22日	フルブライトメモリアル基金による日米教育委員会交流で全米各地の教員16名が稲城市訪問。学校との交流・稲城市の文化体験等。市内視察、稲城第七小学校・駒澤学園女子高等学校・稲城第五中学校で教育活動参観。ホームステイ	
モンゴル	ウランバートル市23番学校	駒沢女子大学臼井教授からの紹介	平成20年 (2008年)	7月14日 ～21日	モンゴルのウランバートル市23番学校の生徒11名が稲城訪問。市内学校で教育活動参加。ホームステイ	指導課
タイ	アユタヤ・ラバチャット大学	駒沢女子大学からの紹介	平成19年 (2007年)	10月	タイ アユタヤ・ラバチャット大学生4名が稲城市訪問。ホームステイ。市内学校を訪問、市民との文化交流、箱根視察等	指導課
			平成20年 (2008年)	10月6日 ～	タイ アユタヤ・ラバチャット大学生及び教授の計5名が稲城市訪問。ホームステイ。市内学校を訪問、市民との文化交流、箱根視察等	